



全国公立学校教頭会通信 第10号

# きずな

第2回 全国研究部長会

発行 令和6年1月29日

全国公立学校教頭会広報部

電話： 03-3436-4868

Mail： [zenkokyo@kyotokai.jp](mailto:zenkokyo@kyotokai.jp)

HP： <https://kyotokai.jp>

令和5年度 第2回全国研究部長会 12月1日（金）11:00～16:00

令和5年12月1日（金）、第2回研修部長会（ハイブリット開催\*全公教関係者は参集参加。会場：東京都千代田区都市センターホテル）を開催しました。その概要をお伝えします。

## ◆全体会 11:00～11:50

- 開会の言葉
- 会長あいさつ
- 第65回石川大会の成果と課題
- ブロック大会の成果と課題
  - ・北海道ブロック ・東北ブロック ・関東甲信越ブロック
  - ・近畿ブロック ・中国ブロック ・四国ブロック ・九州ブロック
- 第66回高知大会について
  - ・研究主題及び日程、内容について ・参加要請数および特別分科会Iについて
- 中央研修大会について



## ◆グループ別研究協議① 11:50～12:30

- 視点：「教育DXへの進捗状況の共有とGIGAスクール環境を生かした学校運営における副校長・教頭の役割について」



## ◆講演 13:15～14:20

- 演題 「1人1台端末+クラウド環境の日常的な活用による主体的な学びの実現と校務・研修改善」
- 講師：春日井市教育委員会 教育研究所 教育DX推進専門官 水谷 年孝 氏



水谷 年孝 先生の講演内容は、全国公立学校教頭会ホームページ（会員限定）で視聴することができます。



### ◆研究協議 14:35 ~ 15:55 (グループ協議)



○視点：  
「1人1台端末及びクラウド環境の日常的な活用による学校改善への取り組みと副校長・教頭の役割について」

- ◆協議内容発表 15:20~15:40
- ◆指導・助言 15:40~15:55
- ◆閉会行事 15:55~16:00

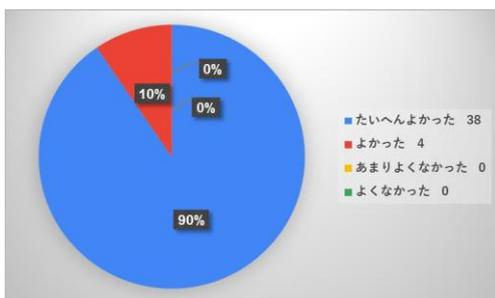
### Q,本会の内容は、実践に活かせるものでしたか？



### 第2回全国研究部長会 アンケート結果報告より (抜粋)

- ◆教育の情報化、学校DXについて全国各地の先生方と情報交換ができたのが良かったです。
- ◆児童生徒を主語にする個別最適な学びと協働的な学びの必要性やそのアプローチ、全国の教頭先生方の取組が共有できました。教頭としてどのように働きかけていけばよいか多くのヒントを得ることができました。
- ◆他県の教頭先生方と思いを共有し、実践交流ができ、有意義でした。今後、教頭として、教員の学力・教育観の意識改革・学校改善のため、カリキュラムマネジメント・次年度の構想・校内研究等の機会あるごとに、これからの未来に向けて大切なことを語り合い、共有しながら、真に必要な子ども達の学びのあり方の改善をリードしていきたいです。
- ◆教頭という立場から考えなければならないことを学びました。できていないことがたくさんだと自覚しましたが、ひとつでも実際に取り組み、子どもたちへ返していきたいと思えます。

### Q,本会の内容は総合的にどうでしたか？



- ◆水谷先生の「子ども達に『生涯に渡って自ら学び続けられる力』をつけることが目標であること、そのためにも、まずは教頭自身がICTの使用や良さを体験してほしいというお言葉に非常に感銘を受けました。
- ◆ICTの活用が本校でも課題の部分がありましたが、水谷先生のお話から様々な活用ができることやその重要性について再認識することができました。
- ◆「自分で学ぶ力を付けること」を大きな目標として、「失敗を恐れずにやってみることを」広めていきたいと思えます。
- ◆授業改革の目指す方向性を理解することができました。
- ◆県教頭会・市教頭会等でフィードバックしていきたいと思えます。